

令和3年度 我孫子市平和事業

# 広島派遣報告書



千葉県我孫子市

## 目 次

■我孫子市の平和都市宣言と平和事業	3
平和都市宣言	4
平和の記念碑	5
■被爆地への中学生派遣事業	6
派遣の目的	6
派遣内容	6
派遣人数	6
派遣中学生の主な活動	6
令和3（2021）年度の派遣事業	7
広島派遣3日間の行程	8
■広島派遣報告	15
派遣に向けての準備	17
1日目	22
2日目	32
3日目	41
■派遣後の活動	43
被爆76周年我孫子市平和祈念式典	44
灯ろうに込めた平和への思い・願い	49
広島・長崎派遣中学生リレー講座 ～未来を生きる子どもたちへ～	53
平和の集い ～我孫子から平和を願う～	59
■私たちの平和宣言	63
我孫子中学校 城野 來海 ・ 後藤 大輝	64
湖北中学校 植田 ひなた ・ 久野 優太	65
布佐中学校 佐藤 夢姫 ・ 濱井 賢治	66
湖北台中学校 石黒 花奈 ・ 菊池 未来	67
久寺家中学校 吉田 陽菜乃 ・ 北澤 夢栞	68
白山中学校 舟木 千智 ・ 高橋 蒼太郎	69

<b>■平和祈念文集</b> .....	<b>71</b>
我孫子中学校    後藤 大輝.....	72
我孫子中学校    城野 來海.....	74
湖北中学校    久野 優太.....	76
湖北中学校    植田 ひなた.....	78
布佐中学校    濱井 賢治.....	80
布佐中学校    佐藤 夢姫.....	82
湖北台中学校    菊池 未來.....	84
湖北台中学校    石黒 花奈.....	86
久寺家中学校    吉田 陽菜乃.....	88
久寺家中学校    北澤 夢椛.....	90
白山中学校    高橋 蒼太郎.....	92
白山中学校    舟木 千智.....	94
<b>■参考資料</b> .....	<b>96</b>
・手賀沼公園 平和祈念碑マップ	
・令和3年広島平和記念式典における平和宣言、平和への誓い	
・令和3年長崎平和祈念式典における平和宣言、平和への誓い	

## ■我孫子市の平和都市宣言と平和事業

我孫子市は、昭和 60(1985)年 12 月 3 日に「平和都市」を宣言し、翌年、広島市から被爆した旧市庁舎の側壁と敷石を譲り受け、手賀沼公園内に「平和の記念碑」を建立しました。その後、毎年 8 月に、平和の記念碑前で、我孫子市原爆被爆者の会とともに平和祈念式典を開催してきたほか、戦後 50 年、60 年、65 年、70 年、75 年の節目の年には記念事業を実施しています。

その間、戦争や原爆体験者の高齢化は進み、その恐ろしさや悲惨さを直接伝えることのできる方は年々少なくなってきました。そのため、市では、戦後 60 年にあたる平成 17(2005)年から、被爆地への中学生派遣事業をスタートし、被爆の実相や平和の尊さを次の世代に伝えていく取組みを始めました。

また、平成 20(2008)年に「我孫子市平和事業推進条例」を制定し、我孫子市平和事業推進市民会議を設置して、市民とともに平和事業に取り組んでいます。さらに、平成 24(2012)年には、広島・長崎両市から譲り受けた被爆アオギリ・クスノキⅡ世の苗木を手賀沼公園に植樹しました。

平成 27(2015)年には、戦後 70 年・我孫子市平和都市宣言 30 年記念平和事業として、毎年行っている平和事業を拡大して実施しました。8 月には、広島平和記念公園の「平和の灯」から火を譲り受け、手賀沼公園の平和の記念碑そばに設置した「平和の灯」にその火を灯し、核兵器がこの世界からなくなるまで常時灯し続けることとしました。また、12 月には、広島の「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子さんが病床で折った折り鶴「禎子鶴」が、首都圏では初めて、国内では 5 番目に、遺族から市に寄贈されました。禎子鶴は、生涯学習センター「アビスタ」に常設展示しています。

さらに、この年、これまでに広島や長崎に派遣された経験をもつ歴代の派遣中学生(平成 27 年度時点では、高校生・大学生)が、自分たちの派遣体験を次の世代に伝えていこうという思いで、「広島・長崎派遣中学生リレー講座～未来を生きる子どもたちへ～」を企画しました。そして、自らが講師となって小学校全 13 校を訪問し、小学 6 年生向けに、平和の大切さを伝える授業を行い、令和 3 年(2021)年度末までに約 6,700 人の児童が受講してきました(令和 2・3 年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部の小学校で実施)。

令和 3 年度の派遣中学生も、小学 6 年生のときに「リレー講座」を受けました。そして派遣から帰ってきたあとは、自らが講師の立場でリレー講座に参加し、派遣で学んだことや平和への思いを後輩たちに伝え、平和のバトンを次の世代につなげています。

今後も我孫子市は、平和都市宣言のもと、市民の皆さんとともに平和事業に取り組んでいきます。

## 平和都市宣言

### 平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。

しかしながら、今日なお世界の動きは、核戦争の危機をはらみ、誠に憂慮にたえない。

わが国は唯一の被爆国として、核兵器の恐ろしさと、被爆者の苦しみを全世界の人々に訴え、再び広島・長崎の惨禍を繰り返してはならない。

我孫子市は市民の生命と安全を守るため、いかなる国のいかなる核兵器に対しても、その廃絶を求め、ここに平和都市を宣言する。

昭和 60 年 12 月 3 日 我孫子市

## 平和の記念碑

記念碑は、広島平和記念公園の原爆慰霊碑をモデルにしたハニワ型のミカゲ石(高さ1.9m、幅2.2m、奥行0.6m)で、その下に被爆した広島市の旧市庁舎の側壁と敷石各1つずつを黒ミカゲ石の台座の上に配しています。

### 平和の記念碑

#### 碑文

街は静かな朝をむかえていた。

昭和二十年八月六日 午前八時十五分

人類最初の原子爆弾は広島市に投下された。

鋭い閃光を放ち爆発した原子爆弾は巨大な

火の玉と化し熱線と爆風をこの街にたたきつけた。

大人も子どもも街と共に消え失せた。

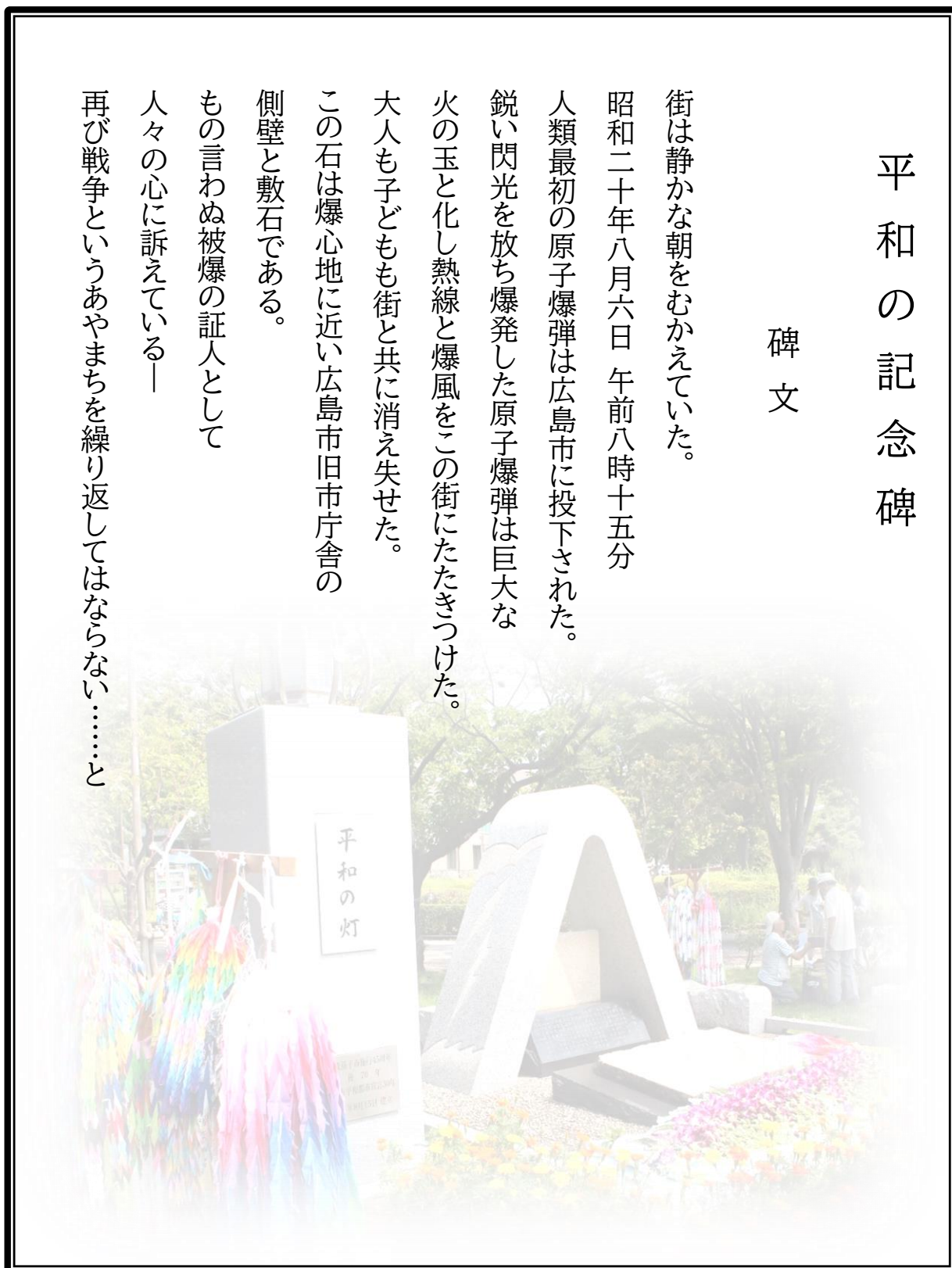
この石は爆心地に近い広島市旧市庁舎の

側壁と敷石である。

もの言わぬ被爆の証人として

人々の心に訴えている――

再び戦争というあやまちを繰り返してはならない……と



## ■被爆地への中学生派遣事業

### 派遣の目的

- ・ 被爆地である広島や長崎で、平和記念(祈念)式典への参列や、原爆関連の資料館や施設の見学などを通じて、戦争や核兵器の恐ろしさ、平和の尊さを知ること。
- ・ 派遣体験を今後の平和に関する学習の糧にするとともに、この体験を活かし、「広島・長崎派遣中学生リレー講座」などに参加することにより、次の世代への継承に貢献してもらうこと。

### 派遣内容

- ・ 広島平和記念式典、長崎平和祈念式典への参列
- ・ 青少年ピースフォーラム等、全国の若者との交流事業への参加
- ・ 広島市の平和記念公園や平和記念資料館、長崎市の平和公園や原爆資料館などの被爆、戦争、平和関連施設の見学
- ・ 広島や長崎を訪れている方へのインタビュー など

### 派遣人数

平成 17(2005)年度から平成 24(2012)年度までは 6 名(市立中学校 6 校から各 1 名ずつ)、平成 25(2013)年度からは 12 名(各中学校 2 名ずつ)を派遣しています。

なお、平成 27(2015)年度は、戦後 70 年・我孫子市平和都市宣言 30 年の節目の年にあたるため、24 名(各中学校 4 名ずつ)を派遣しました。また令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、9名の派遣となりました。

### 派遣中学生の主な活動

- ・ 事前説明会、事前学習会、市長・教育長との懇談会への参加
- ・ 広島・長崎の平和記念(祈念)式典への参列
- ・ 派遣感想文の作成
- ・ 我孫子市平和祈念式典への参列、派遣報告
- ・ 手賀沼とうろう流しへの参加
- ・ 「広島・長崎派遣中学生リレー講座」への参加、学校等での派遣体験の伝承
- ・ 「平和の集い」における派遣報告

## 令和3(2021)年度の派遣事業

令和3年度は市内の中学校全校から2名ずつ、計12名の中学生を広島に派遣しました。また、市の代表として市長・教育長が、引率者として我孫子市平和事業推進市民会議委員1名、市職員3名が同行しました。

### ● 中学生派遣団

氏名	ふりがな	性別	学校名	学年
後藤 大輝	ごとう だいき	男	我孫子中学校	2
城野 來海	じょうの くるみ	女		2
久野 優太	くの ゆうた	男	湖北中学校	2
植田 ひなた	うえだ ひなた	女		2
濱井 賢治	はまい けんじ	男	布佐中学校	2
佐藤 夢姫	さとう ゆめ	女		2
菊池 未来	きくち みらい	男	湖北台中学校	2
石黒 花奈	いしぐろ はるな	女		2
吉田 陽菜乃	よしだ ひなの	女	久寺家中学校	2
北澤 夢椋	きたざわ ゆめか	女		2
高橋 蒼太朗	たかはし そうたろう	男	白山中学校	2
舟木 千智	ふなき ちさと	女		2

### ● 我孫子市からの参加者

氏名	ふりがな	性別	所属
星野 順一郎	ほしの じゅんいちろう	男	我孫子市長
丸 智彦	まる のりひこ	男	我孫子市教育長
長塚 彩乃	ながつか あやの	女	平和事業推進市民会議
佐々木 祐子	ささき ゆうこ	女	市教育委員会 指導課
稲垣 公亮	いながき こうすけ	男	市 企画課
岡村 優香	おかむら ゆか	女	//



我孫子市マスコットキャラクター  
手賀沼のうなきちさん



## 広島派遣3日間の行程

### ■1日目 [8月9日(月・祝)]

7:20 出発式 けやきプラザ前集合



7:30発 我孫子駅～(上野東京ライン)～東京駅～  
～12:48着 (JR 新幹線のぞみ 83 号)～広島駅



14:00 広島駅で昼食後、ホテルにチェックイン。  
台風の影響で電車が不通であったため、大和ミュージアムへ行く予定を変更し、広島平和記念公園へ移動(路面電車)



15:00 広島平和記念公園の見学  
～16:30 星野市長から慰霊碑などの説明を聞く



17:00 おりづるタワー見学  
～18:00



18:30 夕食  
～20:00



20:30 1日の反省と振り返り  
～22:00



不安と期待の中、我孫子を出発した広島派遣団。最初は緊張していましたが、広島に到着する頃には、皆打ち解けていました。

台風の影響によって、行程が大幅に変更になってしまい、この日は平和記念公園を中心に見学しました。

反省会では、明日の活動をより良いものにするために、活発な意見交換が行われました。



■2日目 [8月10日(火)]

8:15 多聞院の見学  
~8:40



9:00 平和記念公園へ移動(路面電車)  
~9:30 原爆の子の像の下で、我孫子市民の皆さんや各中学校から集まった千羽鶴を奉納



9:30 被爆体験講話(平和記念資料館)  
~10:45





11:00  
~11:45

本川小学校平和資料館の見学





12:00  
~13:00

昼食(むさし 土橋店)



13:00  
~14:30

路面電車とフェリーを乗り継ぎ、宮島へ。



14:30  
~16:30

厳島神社など、島内を見学



17:00  
~20:00

フェリーとJRを乗り継ぎ、広島駅へ戻って夕食



20:30  
~21:30

## 最終日に向けた反省会



2日目は、多聞院というお寺の見学から始めました。8時15分に鳴らされる鐘の音を聞きながら、改めて平和の尊さを実感しました。

また、被爆体験講話では、当時の様子を語っていただきました。今の自分たちには信じられない悲惨な情景に、皆、恐怖と悲しさを感じました。

前日の反省会のおかげで、初日より、より集中して見学や聴講ができました。

午後は、宮島に行き、巖島神社など、日本と広島  
の歴史に触れることができました。

反省会では、翌日の行程についても話し合いを行い、皆で活動内容を決めました。





■3日目 [8月11日(水)]

7:30 ホテルをチェックアウトし、呉市の大和ミュージアムへ  
~9:00



9:00 大和ミュージアムの見学  
~10:30



11:00 広島駅に戻り、昼食  
~13:30

13:42 広島駅~(JR 新幹線のぞみ 30 号)~品川駅~

~18:45 (JR 上野東京ライン)~我孫子駅

18:50 我孫子に帰着。出迎えてくださったみなさんに、派遣報告とお礼。



(けやきプラザ前)

最終日は、前日の反省会での話し合いの結果、初日に行くことのできなかった大和ミュージアムに行きました。戦時中のことが事細かく展示されており、戦争のはかなさ、むなしさを感じました。

そして、3日間の行程が終わり、無事に我孫子に帰ってくることができました。

固い絆で結ばれた12名は、3日後の我孫子市平和祈念式典での再会を約束し、広島派遣は終了しました。